

令和2年度 宇和島市地域ケア会議

「地域ケア会議」とは？

①個別会議

主に事例対応

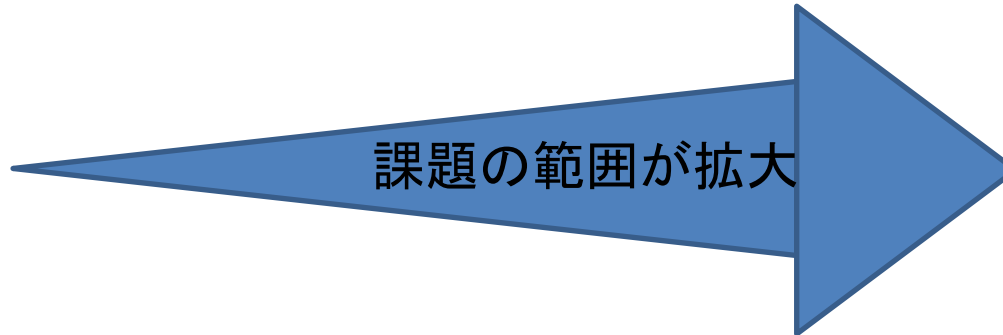
②圏域会議

③地域ケアネットワーク会議

宇和島市の高齢者施策の立案



実務者レベルの
会議



代表者レベルの
会議

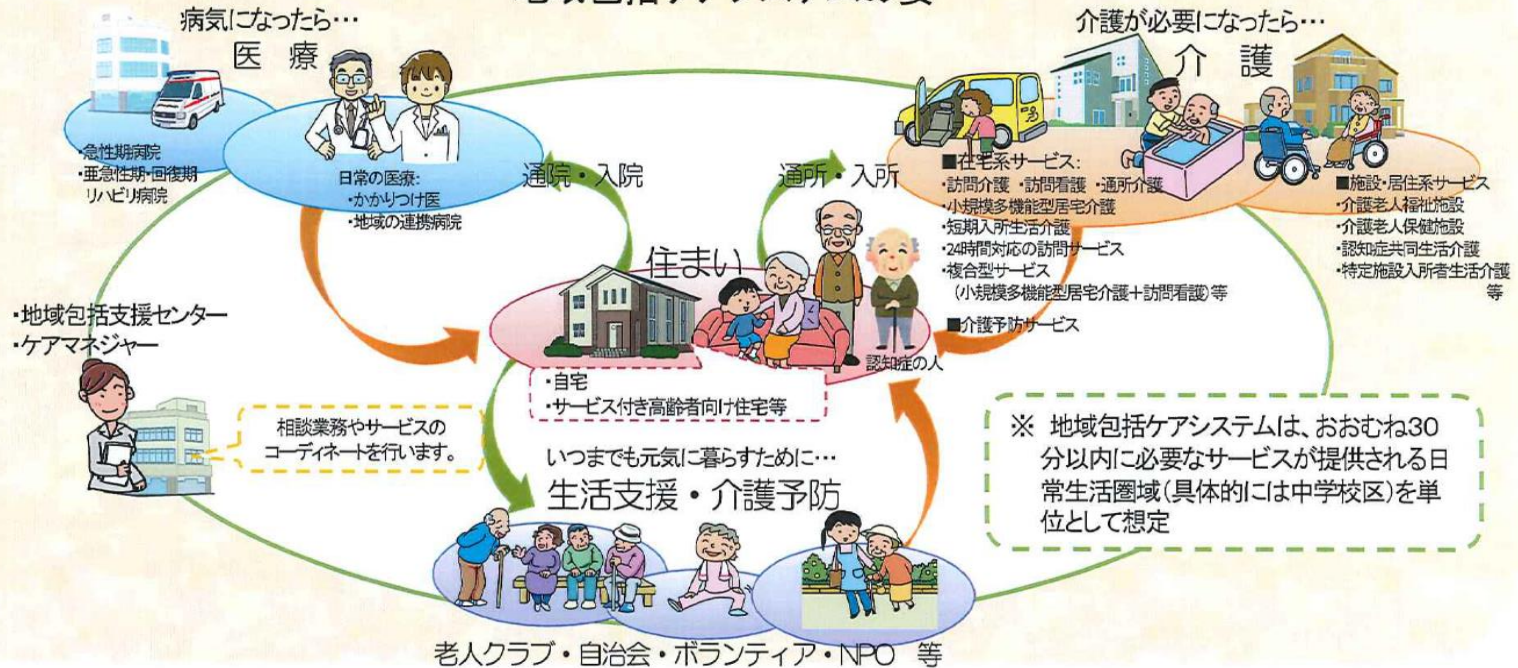
個別のケース対応を積み重ね、高齢化の進む宇和島市に何が求められるかを把握

国の施策を待つことのない、地域に合った宇和島市ならではの施策を展開

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**

地域包括ケアシステムの姿



地域ケア会議の役割



①個別会議

支援困難事例の検討

自立支援・重度化防止に向けた個別会議

②圏域会議

日常生活圏域に分かれ、地域ケア会議を開催。

多職種協働で地域課題を整理し、市全体で協議する地域ケアネットワーク会議に結び付け、住み慣れた地域で安心して生活できる地域包括ケア体制構築に努める。

③地域ケアネットワーク会議

宇和島市の高齢者施策の立案

市内7圏域

【城北】
高齢者の移動
手段

【吉田】
災害をテーマに
定例会開催

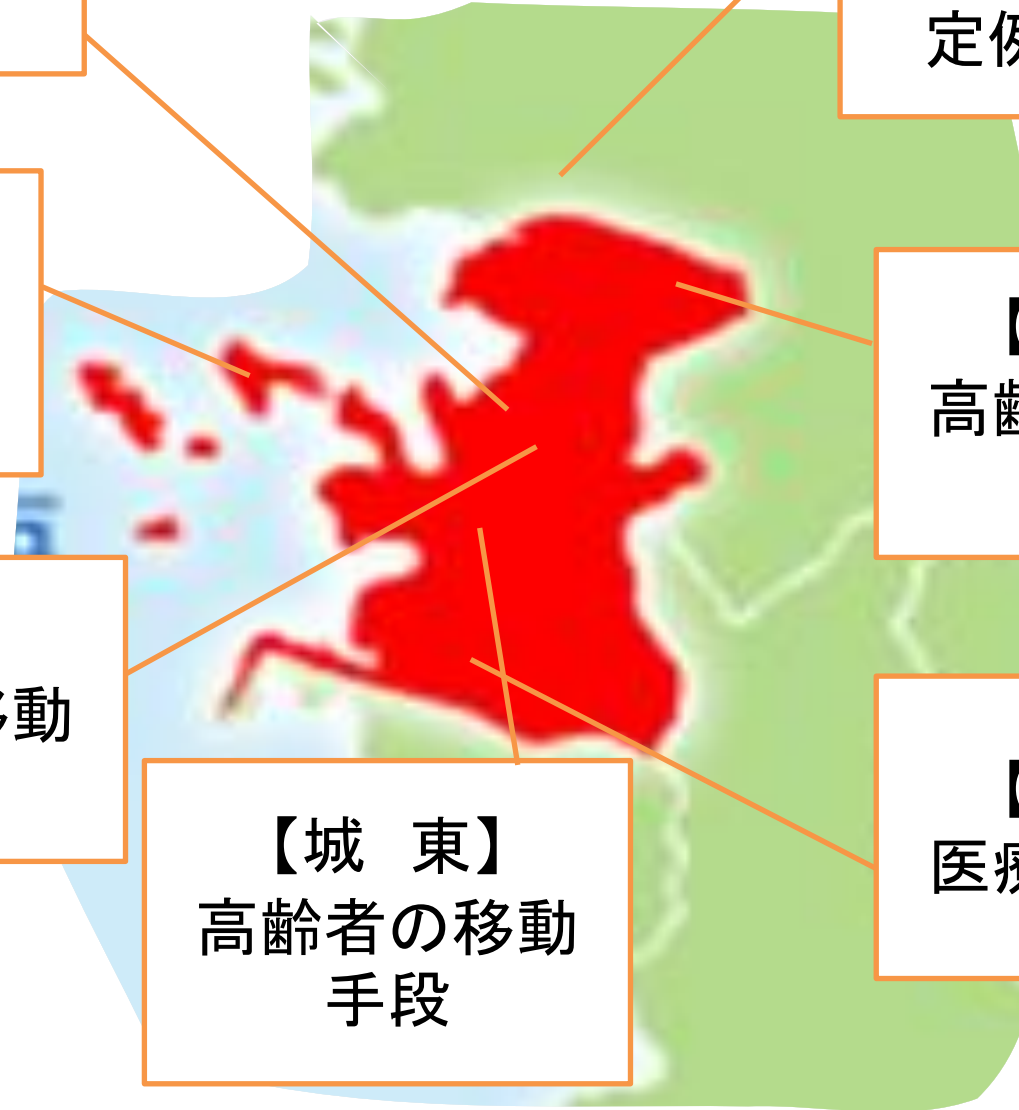
【宇和海】
高齢者の移動
手段

【三間】
高齢者の移動
手段

【城南】
高齢者の移動
手段

【城東】
高齢者の移動
手段

【津島】
医療介護連携



★ 圏域会議

R2年度から、7つの日常生活圏域にて開催。

目的：圏域毎に地域課題を整理し、市全体で協議する地域ケアネットワーク会議に結び付け、住み慣れた地域で安心して生活できる地域包括ケア体制構築に努める。

検討メンバー：介護支援専門員、社会福祉協議会地域福祉課
宇和島市保険健康課の地区担当保健師 等

●吉田【災害を通じた専門職による定例会】

→R1年11月「社会福祉協議会（地域支え合いセンター・地域福祉課）からの情報提供」開催。平常時からつながりを持つことが、災害時に生きることを再確認。まずは専門職がお互いの役割を知り、理解を深めていく。今年度は、「医療（市立吉田病院）」、「介護（居宅介護支援事業所）」、「吉田支所現地支援班より情報提供」、「保健（吉田支所保健師）を予定。

●津島【安心して在宅療養ができる地域にするために】

→専門職「医療介護連携」×「地域」。その人らしく最期まで住み慣れた地域で過ごすことが出来るよう、地域の人を交えた多職種協働で地域資源を検討する。

★ 圏域会議

●R1年度：城東、城南、城北、三間

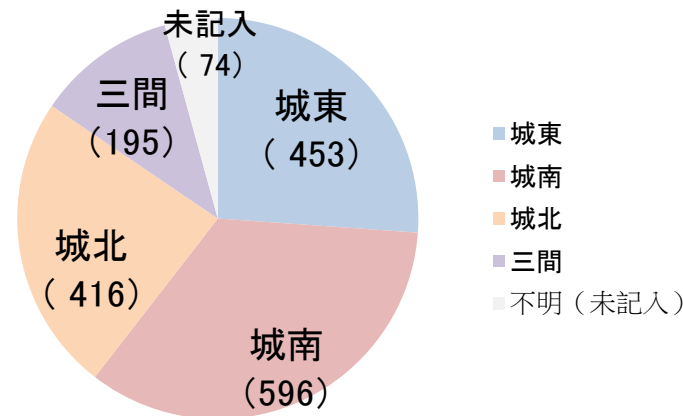
【高齢者の移動手段について】

→サロン利用者・要支援認定者（1,734名）対象に「買い物に関するアンケート」実施。「自分の目で見て商品を選びたい」人を支援するためには、どのような地域資源があればよいか等、今後地域を含めた検討が必要。

アンケート結果

- 重い物やかさばる商品を持つのが大変。
- 徒歩圏域に店舗がない。
- 歩いて店舗まで行くのが大変。
- 季節に合った衣類を、自分で選びたい。
- 自分で使う生活用品は、自分で買いたい。
- 「バスやタクシー等の買い物送迎」や「店舗からの送迎」などの支援があればいいと思う。 など

アンケート実施圏域(内訳)



★圏域会議

●城東、城南、城北、宇和海【 地域特性の把握から資源発掘へ 】

→まず、地域特性を把握、多職種で情報共有。

→アンケートに出た数々の意見を踏まえ、どうすればその地域で生活している「自分の目で見たい商品を選びたい」人を支援できるか？また、どのような地域資源があればいいか。

●三間【 圏域内での地域資源を見直す・生かす 】

→「移動制限かかり、旧市内や鬼北へ出向いて行けない」と仮定し、地元の商店で買い物を済ませる方法を検討。コミュニティバス、デマンドタクシーの活用等。

→その地域にある商店、商工会、移動販売車などとなつながら、現状や問題を共有することで、多職種協働で地域課題発見・解決に向けて取り組む。

地域ケア会議を活用した地域包括ケアシステム実現のイメージ

基盤整備・総合計画・地域福祉計画等宇和島市の施策への反映

地域づくり・資源開発の検討

地域課題の発見

多職種による大小様々な地域ケア会議
核となるのは「多職種連携」

医師・
歯科医師
看護師・
衛生士
リハビリ技師
臨床検査技師



社会福祉協議会
社会福祉法人

警察

消防

ヘルパー
ケアマネ

老人クラブ
地域住民

自治会長
民生委員

保健師

行政(事務
職)

公民館

社会福祉
士

薬剤師

